

黒点病

【学名 : *Diaporthe citri* (Fawcet) Wolf】



【被害と発生生態】

- ・被害作物…カンキツ類（ウンシュウ、レモン、ネーブル等）
- ・発生部位…葉・枝・果実で発生し、果実での発生は商品価値を大きく損ねます。
- ・発生時期…6～10月にかけて多発します。降雨で感染拡大します。
- ・発生好適条件…日照や通風しが悪い園地で発生しやすい特徴があります。
- ・症状…黒い小さな点が無数に発生し、発病が著しいと枝は枯死し、落葉します。

【見分け方】

- ・写真のように針で刺したような黒色の小さな点が葉や果実表面に無数に発生します。

【対策】

- ・樹冠内部の枯れ枝や罹病葉・罹病果実が伝染源となるため、速やかに除去し、ほ場外で処分してください。
- ・防除間隔は1か月以内とし、加えて累積降水量が250mmを超えた場合は追加防除を行ってください。